

美術学部3つのポリシー（改正前）

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

秋田公立美術大学は、大学の理念に基づく教育の成果として、次のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生を卒業認定します。

- (1) 従来の芸術を理解し、それを新しい芸術として再創造できる能力
- (2) 文化の多様性を受け容れ、芸術において異文化と共存できる能力
- (3) グローバルな視野に立ち、国際的な舞台に挑戦できる能力
- (4) 芸術の新しい知見によって、地域社会の発展に貢献できる能力

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

秋田公立美術大学は、大学の理念を実現するため次のような方針によりカリキュラムを編成しています。

- (1) 「教養科目」、「キャリア教育科目」、「専門科目」、「教職課程科目」および「博物館学芸員課程科目」で構成し、「専門科目」は、「専門共通科目」と「専門専攻科目」で構成する。
- (2) 1・2年次では、学びたい分野や進むべき方向性の絞り込みを行うため、「教養科目」、「専門共通科目」を通して総合的に学ぶ。
- (3) 3・4年次では、自分の適性に沿って選択した「専門専攻科目」とそれを補う「専門共通科目」により、より高度な知識や技術を学び、必要な能力を身につける。
- (4) 卒業後の社会的自立のために、「キャリア教育科目」をおく。また、教員および学芸員の育成のため「教職課程科目」および「博物館学芸員課程科目」をおく。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

秋田公立美術大学は、基本的理念に基づいた人材の育成を目指すため、次のような目的意識を持った学生を受け入れます。

- 「芸術の未知の領域に強い関心を持つ人」
- 「自ら問題を発見し、積極的に学ぶ意欲のある人」
- 「芸術分野で自立する意欲のある人」
- 「芸術を通して、地域社会の発展に貢献する意欲のある人」